

Project No.20181048

第 143 回 銀行業務研修・中級コース
第 85 回 収益管理・リスク管理コース

(関係部門へご回覧下さい)

収益管理の実務

本コースは、金融機関において収益管理・リスク管理の重要性が近年さらに高まっている中で、特に収益管理について、可能な限り平易な言葉で解説することで、収益管理の実務の高度化について学習します。

- ★ 金融機関で収益管理、リスク管理の業務に配属されたばかりの方
- ★ 企画部門、経理部門、市場部門、ALM部門、事務システム部門のご担当者の方、統合リスク管理のご担当の方
- ★ 収益管理、リスク管理システムを開発されているシステム部門の方
- ★ 収益管理、リスク管理の概要を理解しておきたい経営者、管理者の方
- ★ メーカー・ベンダーの金融機関担当営業、SEの方

開催日：2018年9月10日（月）・11日（火） 2日間

会場：ニッキンホール（東京・市ヶ谷）

講師： (ご講演順・敬称略)

専修大学 准教授

PwC あらた有限責任監査法人

博士（経営学） 谷 守 正 行

PwC あらた有限責任監査法人

シニアマネージャー 前 田 正 平

CMC

Computer Based Management College

<https://www.nikkinn.co.jp/cmc.html>

※上記サイトからWebでの申し込みが出来ます

後援 一般社団法人 全国地方銀行協会
一般社団法人 第二地方銀行協会
一般社団法人 全国信用金庫協会
一般社団法人 全国信用組合中央協会

☆コースのねらい

金融機関における収益、リスク管理の重要性が近年さらに高まっています。本コースでは、収益管理、リスク管理を可能な限り数学を使わず平易な言葉で解説。特に金融機関における収益管理の基本的な考え方、実践方法を様々な事例を用いてわかりやすく解説し、収益管理に必要な用語、実務知識を身につけ、今後の業務運営、企画・開発・運用業務、及び効果的なシステム導入の提案・営業活動に役立てていただくことをねらいとします。

☆本コースの位置付け

金融にかかわるすべての方を対象とした **CMC** の「銀行業務研修・基礎コース」「銀行業務研修・勘定系システムコース」に続く銀行業務研修シリーズ。

「信用リスク編」「市場リスク・オペレーショナルリスク・ALM・統合リスク管理編」の2コースに分け、「収益管理編」を加えて、内容を充実させました。

☆開催要綱

日時：2018年9月10日（月）、11日（火）2.0日間

時間：1日目 10:30～16:00（10:00受付開始）

2日目 9:30～16:00（9:00受付開始）

講師名：谷守 正行 氏、前田 正平 氏

会場：ニッキンホール（東京都・市ヶ谷）

受講料：

- ・ **CMC** 会員価格 62,640円（本体価格 58,000円、消費税 4,640円）
- ・ 後援協会会員価格 66,960円（本体価格 62,000円、消費税 4,960円）
- ・ 一般価格 71,280円（本体価格 66,000円、消費税 5,280円）

（2日間とも昼食はこちらで用意いたします）

受講料：40人（最少開催人員10人）

<講師のご紹介>

谷守 正行 氏（専修大学准教授・PwC あらた有限責任監査法人財務報告アドバイザー一部ディレクター）

都市銀行総合企画部にてカンパニー別管理会計を企画・構築・運用ののち、大手 SI ベンダー金融事業本部部長として経営管理（システム）ソリューションの企画と開発を担当。2006年より大手銀行グループのグループ管理会計を構築し IR へ適用。2012年より PwC あらた有限責任監査法人にて管理会計アドバイザーを首都圏大手から地域金融機関まで多数実施。2014年より現職（金融機関を中心とするサービス業の管理会計研究）。博士（経営学）、日本証券アナリスト協会検定会員。主な著書に『金融機関のための管理会計マネジメント』（同文館出版）、『銀行管理会計』（専大出版）、『BSC による銀行経営革命』（金融財政事情研究会）など。

前田 正平 氏（PwC あらた有限責任監査法人財務報告アドバイザー一部シニアマネージャー）

PwC 入所後、大手金融機関、大手メーカー系のノンバンク、不動産関連会社、証券化取引における SPC の会計監査業務に従事した後、2009年から現在まで PwC あらた有限責任監査法人財務報告アドバイザー一部に所属し、IFRS・日本基準・米国基準に関する会計アドバイザー業務に従事している。また、大手行向けの、管理会計高度化プロジェクトに中心的メンバーとして従事し、原価計算方式の見直しを中心論点とする、銀行の店別採算管理、顧客別収益管理などの管理会計の高度化ならびに拠点別の定員算定モデルの再構築などの取り組みについて主に実務面から支援している。

収益管理の実務 カリキュラム

(1日目) 9月10日 (月)

10:30~16:00<10:00受付開始>

《 理論編 》

谷守 正行 氏

1. 金融機関における収益管理の前提

- ① 金融機関における収益管理体系
- ② 制度や規制の影響とステークホルダー
- ③ ビジネスモデルの変革

2. 金融機関の収益管理フレームワーク

- ① 統合リスク管理
- ② RAF (リスクアペタイト・フレームワーク)
- ③ 店別収益管理と最近の収益管理体系

3. 資金収益管理の仕組み

- ① スプレッド収益管理の現状
- ② マイナス金利の影響
- ③ ALM 管理と業績管理の違い

4. 経費・原価計算の仕組み

- ① ABC (活動基準原価計算) の現状と課題
- ② ポスト ABC (資産アプローチ原価計算)
- ③ 関係性基準原価計算 (Relationship-Based Costing : RBC)

5. リスク調整の仕組み

- ① 信用コスト (EL) 控除
- ② 与信関係費用控除
- ③ IFRS 第9号 (ECL) のインパクト

6. 収益性指標と計算構造

- ① 収益性指標の計算構造
- ② 資本効率性指標と計算構造
- ③ 収益性・健全性・成長性の関係性

7. 収益管理に係る新たな論点や課題

- ① マイナス金利への対応
- ② FinTech プラットフォーム化への対応
- ③ グループ経営に向けての論点
- ④ 営業店減損判定の論点
- ⑤ 口座維持手数料導入の課題

(2日目) 9月11日 (火)

9:30~16:00<9:00受付開始>

《 実務編 》

前田 正平 氏

8. 経費集計の実務

- ① 経費集計単位 (部店) の整理
- ② 経費集計単位 (システム) の整理
- ③ 経費の集計 (部店・集中払い・システム)
- ④ 経費集計単位の区分定義
- ⑤ 経費データ管理と運用のポイント

9. 店別管理会計の実務

- ① 営業部門と市場その他部門の経費
- ② 配賦ドライバの定義
- ③ ドライバ集計と単価算定
- ④ 店別原価算定
- ⑤ 店別収益等データの集計
- ⑥ 帳票・チャートの作成

10. 顧客別管理会計の実務

- ① ドライバの定義
- ② ドライバ集計と単価算定
- ③ 顧客別原価の算定
- ④ 帳票・チャートの作成
- ⑤ 顧客別最低金利算定の具体例

11. 収益管理ツール

- ① 顧客別原価計算ツール
- ② 顧客別ドリルダウン
- ③ PowerMap 他 BI ツール活用のポイント
- ④ 統計ソフト活用のポイント
- ⑤ 次期収益管理システム構築のポイント

12. 管理会計事例紹介

- ① 既存の原価計算システムを活用しつつ原価計算方式を見直した事例
- ② 店舗別情報を活用して店舗人員算定モデルを見直した事例
- ③ 店別採算管理の結果に基づき店舗戦略を検討した事例 ほか

48

第85回 収益管理・リスク管理コース

「収益管理の実務」

ホームページ用受講申込書（9月10日・11日開講）

貴社名

所在地 〒

連絡責任者

TEL

部署・役職

FAX

Eメール

受付番号	参加者氏名	所属（部・課・グループ）	役職

☆お申し込みいただきました方には、受講証・請求書・会場地図を郵送いたします。

☆一週間経過しても届かない場合はご連絡ください。

受講料 A：CMC会員価格 41,040円（本体価格38,000円）

B：後援団体会員価格 44,280円（本体価格41,000円）

C：一般価格 47,520円（本体価格44,000円）

お問い合わせは、

株式会社 CMC

TEL 03-3261-4550 FAX 03-3261-4570 まで。

注：振込先銀行

みずほ銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1797042 (名義) 株式会社 CMC

振込予定日（できるだけご記入ください） 月 日

受講についてのお願い

- ①受講料は、セミナー開催日までにお振込みください。
- ②銀行振込の場合は領収書を発行いたしません。
- ③銀行振込に際しては、可能であれば貴社名の前に請求書番号の下3桁（枝番数字）を付記してください。
振込手数料は貴機関でご負担をお願い申し上げます。
- ④開催日一週間以内の受講キャンセルの場合、受講料の払い戻しはいたしません。
- ⑤講演中の録音・撮影ならびにパソコン・携帯電話の利用はご遠慮ください。
- ⑥ホームページに提携ホテル一覧がございます。特別割引もございますので是非ご利用ください。
- ⑦諸般の事情により開催を中止させていただく場合がございます。